

新人大会

9月26日（火）から福島支部中体連新人大会が行われました。また、9月13日（水）には、地区小中音楽祭第2部合奏が開催されました。どちらも、1・2年生が参加しています。いわゆる本番の大会でありコンクールです。

3年生が引退してから、練習試合や大会などに、新チームとして参加してきました。勝つこともあれば、負けることもあったでしょう。特に、負けたことから多くのことを学んできたのではないのでしょうか。今まで学んだり、経験したりしたことを生かす場が、中体連新人大会です。

選手の皆さんは、どのくらい自分の力を発揮できたでしょうか。応援の皆さんは、自分の役割を果たすことができたでしょうか。試合では、一進一退（いっしんいったい）の攻防（こうぼう）が続き、どちらが勝つか最後までわからないことがあります。勝敗を決めるのは何だと思えますか。

答えは一つではありませんが、大会を振り返って考えてみる価値はあると思います。ただ「悔しい」で終わらずに、あのとき何が足りなかったのか。本当は、どうしたかったのか。そのときの精神状態は、どうだったのか。

きっと、弱気になってしまい、負けた場合には、後悔の気持ちが強くなるでしょう。強気で攻めていっても負けた場合には、やることはやった、仕方がないという気持ちになれるかもしれません。いずれにせよ、負けた以上は、悔しさが残るはずです。悔しさは、大きなエネルギーとなります。悔しさを忘れないで努力する選手が、次の大会で活躍し、成長していくのではないのでしょうか。悔しいという気持ちは大切なものです。

福島支部の大会は終わりましたが、これから県北大会、県大会、そして東北大会、全国大会へとつながっていく競技もあります。人やチームは、どこに目標を設定するかによって結果が大きく変わってきます。

県北大会に出て満足するのか、県北大会でも1試合1試合、相手に向かっていって勝とうとするのかによって、勝敗は違ってきます。ぜひ、勝利を目指して、チームがまとまることで、今後につながるような試合をしてほしいと思います。

一番は、自分の課題、チームとしての課題を明らかにして、これからどんなことをしていくのかを確認することです。そうすれば、1・2年生の学校生活にも、いい影響が出てくるでしょう。そんな部活動であってほしいと願っています。